

先進国リスクターゲット ファンド

愛称:プレタポルテ

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2020年6月8日から2030年6月5日まで
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。
主要運用対象	<p>BNP Paribas Issuance B.V.が発行する円建債券を主要投資対象とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 主としてBNP Paribas Issuance B.V.が発行する円建債券（以下「担保付円建債券」といいます。）に投資します。 担保付円建債券の組入比率は、高位とすることを基本とします。 担保付円建債券は、マルチアセット戦略を用いた円建の指数であるBNPパリバ・マルチアセット・グローバルJPY5指数（以下「当該指数」といいます。）に実質的に投資した場合の投資成果の獲得を目指します。 当該指数の実質的な投資対象は、日本、米国およびドイツの株価指数先物、日本、米国、およびドイツの国債先物ならびに米ドル円およびユーロ米ドルの為替フォワードです。 資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。
組入制限	<ul style="list-style-type: none"> 株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 担保付円建債券への投資割合には、制限を設けません。 投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 有価証券先物取引等は、約款の範囲で行います。 外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。

第1期運用報告書（全体版）

（決算日 2020年12月7日）

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。
さて、「先進国リスクターゲットファンド」は、2020年12月7日に第1期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

<https://www.tdasset.co.jp/>

設定以来の運用実績、基準価額の推移等

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			BNPパリバ・マルチアセット・グローバルJPY5指数		債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
	(分配額)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
設定日 2020年6月8日	円 10,000	円 —	% —	426.44	% —	% —	% —	百万円 1
1期(2020年12月7日)	10,191	140	3.3	448.45	5.2	94.8	—	22

(注) 基準価額および分配金は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、ベンチマークを設定しておりません。参考指数であるBNPパリバ・マルチアセット・グローバルJPY5指数【出所：BNPパリバ】は、基準価額への反映を考慮して前営業日の指数を使用しております。なお、設定日には当ファンドが債券を組入れた日の前営業日の指数を表示しております。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		BNPパリバ・マルチアセット・グローバルJPY5指数		債券組入比率	債券先物比率
	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)		
設定日 2020年6月8日	円 10,000	% —	426.44	% —	% —	% —
6月末	9,976	△0.2	425.90	△0.1	92.6	—
7月末	10,184	1.8	436.21	2.3	95.8	—
8月末	10,271	2.7	441.49	3.5	94.8	—
9月末	10,150	1.5	437.57	2.6	97.6	—
10月末	10,153	1.5	438.94	2.9	97.3	—
11月末	10,315	3.2	447.59	5.0	93.2	—
期末 2020年12月7日	10,331	3.3	448.45	5.2	94.8	—

(注) 基準価額は1万円当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は設定日比。

(注) 設定日の基準価額には、当初元本を用いております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、ベンチマークを設定しておりません。参考指数であるBNPパリバ・マルチアセット・グローバルJPY5指数【出所：BNPパリバ】は、基準価額への反映を考慮して前営業日の指数を使用しております。なお、設定日には当ファンドが債券を組入れた日の前営業日の指数を表示しております。

BNPパリバ・マルチアセット・グローバルJPY5指数について

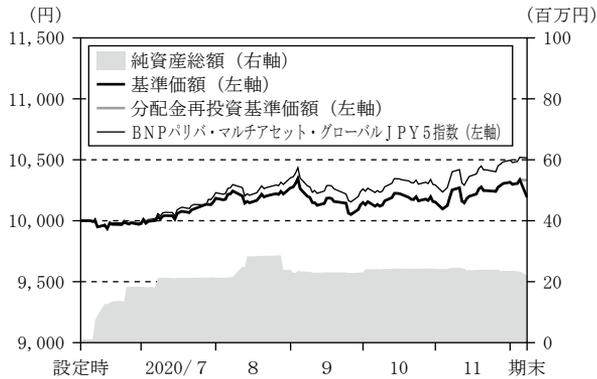
BNPパリバ・マルチアセット・グローバルJPY5指数（以下、当指数）はBNPパリバ（以下、指数スポンサー）の独占的な財産です。本資料に含まれる当指数の情報は一般的な参考のみを目的とし、指数スポンサー及びそのグループ会社（以下、指数スポンサー等といいます。）は、購入や投資の提案、推奨をするものではありません。

指数スポンサー等は、当指数の構成、計算、公開、調整、当指数に含まれるデータまたはその基礎となるいかなるデータについても、その正確性または完全性（計算上の過誤、脱漏または中断等を含む）を保証するものではありません。指数スポンサー等は、当指数の使用による結果について保証するものではなく、加えて、当指数およびそのデータの特定の目的における使用または利用について、当指数の商品性または適合性の一切を保証するものではありません。

指数スポンサー等は本資料の内容について、なんら責任を負うものでも正確性及び完全性を保証するものでもなく、発生したいかなる損害等についても、明示的に免責されます。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



設定日：10,000円

第1期末：10,191円（既払分配金140円）

騰落率：3.3%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額および参考指数は、設定日（2020年6月8日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いています。

■ 基準価額の変動要因

基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。マルチアセット戦略を用いた円建の指数であるBNPパリバ・マルチアセット・グローバルJPY5指数が上昇したことにより、投資対象であるBNP Paribas Issuance B.V.が発行する円建債券の価格が上昇しました。当該指数の上昇には、期中に買建（ロング）としていた日米株式先物指数や1ヵ月ものユーロ米ドル為替フォワードの上昇が寄与しました。

■ 投資環境

【金利市況】

当期の債券市場は、ドイツの長期金利が低下しましたが、日本、米国の長期金利は概ね横ばいでした。

米国の長期金利については、期初から2020年9月にかけては、新型コロナウイルスの感染再拡大への懸念や、FOMC（米連邦公開市場委員会）で長期に渡ってゼロ金利政策が継続されるとの見通しが示されたことから低下しましたが、その後、期末にかけては、新型コロナウイルスのワクチン開発の進展期待を受けて、低下幅を縮小しました。

ドイツの長期金利については、期初から2020年9月にかけては、米国の長期金利に追随して低下しました。その後、期末にかけては、新型コロナウイルスのワクチン開発の進展期待にもかかわらず、ECB（欧州中央銀行）が12月の追加金融緩和を示唆したことから、概ね横ばいで推移しました。

日本の長期金利については、イールドカーブ・コントロール政策の下、日銀が長期金利をゼロ%程度で推移するように調整しており、ゼロ%近傍で横ばい推移となりました。

【株式市況】

当期の株式市場は、日本、米国、ドイツで株価が上昇しました。

期初から2020年10月にかけては、世界経済が積極的な財政・金融政策によって回復基調となる一方で、新型コロナウイルスの感染再拡大への懸念、米国の追加経済対策の協議難航、米大統領選挙を巡る不透明感などから、日本、米国の株価は概ね横ばいでした。欧州では、新型コロナウイルスの感染第2波が深刻な状況となり、経済活動の制限強化による景気の悪影響が懸念されたことから、ドイツの株価は下落しました。

11月から期末にかけては、米大統領選挙でバイデン氏の勝利がほぼ確実となる一方で、下院は民主党、上院は共和党が制するねじれ議会になるとの観測が高まると、バイデン氏が提案する法人増税や規制強化などの政策は回避されるとの思惑が高まったこと、新型コロナウイルスのワクチン開発の進展を受けて将来の経済活動の正常化への期待が高まったことから、日本、米国、ドイツで株価は上昇しました。

【為替市況】

当期の為替市場は、円、ユーロともに対米ドルで上昇しました。

円については、日本と比べて米国の新型コロナウイルスの感染拡大が深刻であることや、米国で長期に渡ってゼロ金利政策が継続されるとの思惑から、投資家のセンチメントの改善にもかかわらず、対米ドルで上昇しました。

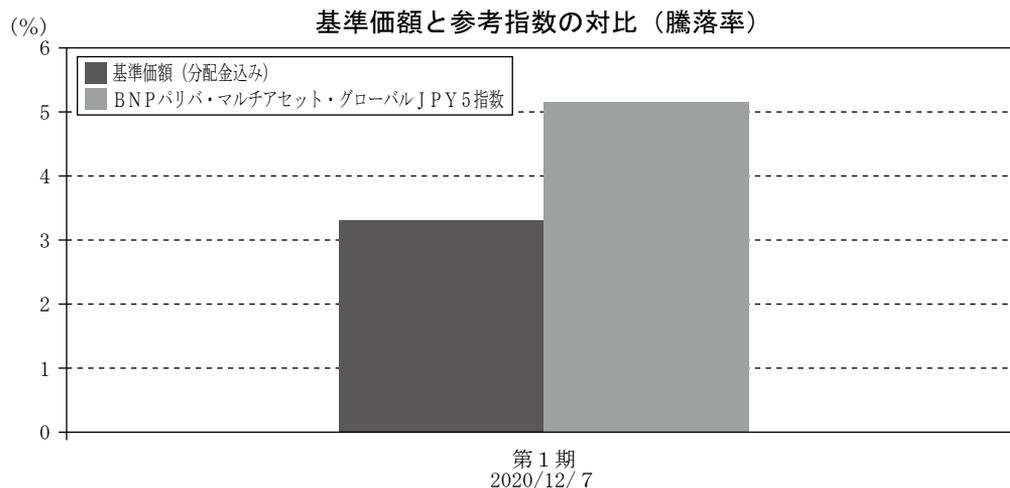
ユーロについては、2020年7月にEU（欧州連合）首脳が復興基金案で合意に至ったことから対米ドルで上昇しました。その後11月中旬にかけては概ね横ばいで推移しましたが、11月下旬から期末にかけては、米大統領選挙の結果や、新型コロナウイルスのワクチン開発の進展を受けて、安全通貨である米ドルに対してユーロが上昇しました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

期を通じて、BNP Paribas Issuance B.V.が発行する円建債券（以下「担保付円建債券」といいます。）を高位に組入れて運用を行いました。担保付円建債券は、マルチアセット戦略を用いた円建の指数であるBNPパリバ・マルチアセット・グローバルJPY5指数に実質的に投資した場合の投資成果の獲得を目指します。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



当期における基準価額（分配金込み）の騰落率は3.3%となり、参考指数を1.9%下回りました。差異の主な要因は、信託報酬などの費用や、円建債券の組入比率が100%を下回ったことです。

■ 分配金

1万口当たりの分配金（税込み）は、基準価額水準、市場動向等を勘案し、140円とさせていただきます。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■ 今後の運用方針

BNP Paribas Issuance B.V. が発行する円建債券を高位に組入れ、マルチアセット戦略を用いた円建の指数であるBNPパリバ・マルチアセット・グローバルJPY5指数に実質的に投資した場合の投資成果の獲得を目指します。

1万口当たりの費用明細 (2020年6月8日から2020年12月7日まで)

費用の明細

項目	当期		項目の概要
	2020/6/8～2020/12/7		
	金額	比率	
平均基準価額	10,174円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	55円 (25) (28) (2)	0.540% (0.248) (0.276) (0.017)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用 (保管費用) (監査費用)	59 (58) (1)	0.578 (0.571) (0.007)	(b) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	114	1.118	

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

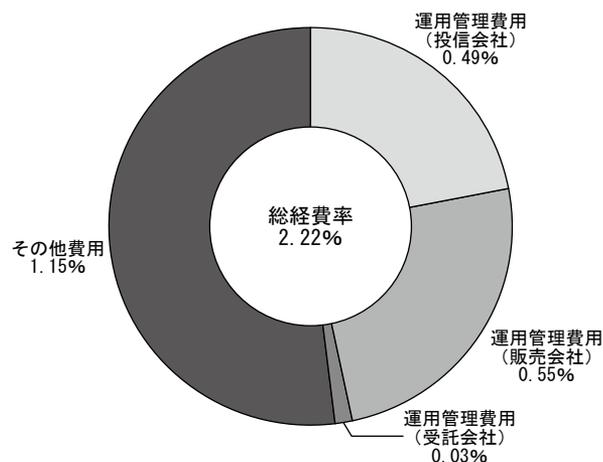
(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は、2.22%です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況 (2020年6月8日から2020年12月7日まで)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内	社 債 券	千円 28,193	千円 8,235

(注) 金額は受渡代金(経過利子分は含まれておりません)。単位未満は切捨て。

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

当期中の主要な売買銘柄 (2020年6月8日から2020年12月7日まで)

公社債

買 付	売 付
銘 柄	銘 柄
金 額	金 額
千円 28,193	千円 8,235
BNP Paribas BV MAD5Jun2021 (担保付円建債券)	BNP Paribas BV MAD5Jun2021 (担保付円建債券)

(注) 金額は受渡代金(経過利子分は含まれておりません)。単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等 (2020年6月8日から2020年12月7日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

自社による当ファンドの設定・解約状況 (2020年6月8日から2020年12月7日まで)

設定時残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高(元本)	取 引 の 理 由
千円 1,050	千円 —	千円 —	千円 1,050	当初設定時における取得

(注) 単位未満は切捨て。

組入資産の明細 (2020年12月7日現在)

(A) 国内（邦貨建）公社債<種類別>

区 分	当 期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
普 通 社 債 券	20,000 (20,000)	20,952 (20,952)	94.8 (94.8)	94.8 (94.8)	— (—)	— (—)	94.8 (94.8)
合 計	20,000 (20,000)	20,952 (20,952)	94.8 (94.8)	94.8 (94.8)	— (—)	— (—)	94.8 (94.8)

(注) () 内は非上場債で内書きです。

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) B B 格以下には無格付を含みます。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(B) 国内（邦貨建）公社債<銘柄別>

銘 柄	当 期			末
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
(普通社債券)	%	千円	千円	
BNP Paribas BV MAD5Jun2021 (担保付円建債券)	—	20,000	20,952	2021/6/15
合 計		20,000	20,952	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2020年12月7日現在)

項 目	当 期		末
	評 価 額	比	率
公 社 債	千円		%
	20,952		88.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	2,823		11.9
投 資 信 託 財 産 総 額	23,775		100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年12月7日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	23,775,253円
コール・ローン等	1,779,853
公 社 債(評価額)	20,952,000
未 収 入 金	1,043,400
(B) 負 債	1,673,385
未 払 収 益 分 配 金	303,624
未 払 解 約 金	1,249,576
未 払 信 託 報 酬	118,548
未 払 利 息	3
そ の 他 未 払 費 用	1,634
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	22,101,868
元 本	21,687,493
次 期 繰 越 損 益 金	414,375
(D) 受 益 権 総 口 数	21,687,493口
1 万 口 当 ち 基 準 価 額(C/D)	10,191円

(注) 設定時元本額 1,050,000円
 期中追加設定元本額 30,086,766円
 期中一部解約元本額 9,449,273円

(注) 1口当たり純資産額は1.0191円です。

損益の状況

当期 自2020年6月8日 至2020年12月7日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 440円
支 払 利 息	△ 440
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	853,637
売 買 益	994,029
売 買 損	△140,392
(C) 信 託 報 酬 等	△248,039
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	605,158
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	112,841
(配 当 等 相 当 額)	(△ 328)
(売 買 損 益 相 当 額)	(113,169)
(F) 合 計(D+E)	717,999
(G) 収 益 分 配 金	△303,624
次 期 繰 越 損 益 金(F+G)	414,375
追 加 信 託 差 損 益 金	112,841
(配 当 等 相 当 額)	(△ 328)
(売 買 損 益 相 当 額)	(113,169)
分 配 準 備 積 立 金	301,974
繰 越 損 益 金	△ 440

(注) 損益の状況の中で

(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(C)信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券売買等損益(605,598円)および収益調整金(112,729円)より、分配対象収益は718,327円(1万口当たり331円)であり、うち303,624円(1万口当たり140円)を分配金額としております。

分配金のご案内

分配金および分配原資の内訳 (単位：円・%、1万口当たり・税引前)

項目	当期
	2020年6月8日 ～2020年12月7日
当期分配金	140
(対基準価額比率)	1.355
当期の収益	140
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	191

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

※元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、個別元本から元本払戻金(特別分配金)を控除した額がその後の新たな個別元本となります。